

平 30 年度 市長懇談会「庄原いちばん談議」

(西城紫水高等学校)

| | |
|--|----------------------------------|
| 日 時 | 平成 31 年 2 月 22 日 (金) 15:00~16:00 |
| 会 場 | 西城紫水高等学校 (2 階大会議室) |
| 出席者数 | 参加者 24 人、市 5 人 |
| 懇談テーマ | 「西城町とともに歩む紫水高生」～地域貢献と地域交流～ |
| 懇 談 内 容 | |
| <p>1. 開会 (進行: 行政管理課長)</p> <p>2. あいさつ 庄原市長 木山 耕三 西城紫水高等学校校長 三谷 浩雄</p> <p>3. 西城紫水高校からの発表 (別添資料参照) および懇談・意見交換</p> <p>■地域貢献・地域交流の取り組み</p> <p>(1) 西城地域貢献活動講座について</p> <p>(生徒会説明)</p> <p>西城地域貢献活動講座は、「地域の活性化のために紫水高生の力を役立てることができないか」、また、「紫水高生の育成のために地域の力をお借りすることができないか」と考え、これを実現するため、平成 29 年度から西城町内の各事業所 (16 箇所) に生徒を派遣し、事業所の仕事を体験しています。</p> <p>この講座は 2～3 年生が対象で、毎週木曜日 (13:30~16:00) に行っています。目標としては、①任せられる業務に創意工夫して誠実に取り組むこと。②協働して取り組み、円滑な人間関係を築く能力を養うこと。③責任感を持つとともに、進路選択の契機とすること。④郷里への理解や愛情を深め、地元貢献への志を持つこと。⑤地元から、本校生徒への励ましや応援の聲が寄せられるようになることで、生徒の社会性や自己肯定感を高めるとともに、西城地域の皆さんからも喜んでいただける関係を築くことを目的として実施しています。</p> <p>(市長コメント)</p> <p>高校生の皆さんが若いうちから将来のステップとして、いろいろな職場を見て、いろいろな人に話を聞いて、いろいろなことを体験できるこの地域貢献活動講座は、素晴らしい取り組みであると思います。</p> <p>特に、皆さんがこれから進む道は一つではなく、たとえ一つに決めたとしても違う人生の進み方もあります。若いうちから社会の仕組みを経験し、ここで学んだ知識や技術は、将来必ず役に立つので、楽しんで取り組んで欲しいと思います。</p> <p>また、単なる職場体験で終わることなく、高校生の視点から、職場で自分の考えや思いを提案していただければと思います。</p> <p>この講座をきっかけに地元の事業所を知り、将来、庄原市での就職や定住につながって欲しいと願っています。</p> | |

(2) ボランティア活動について

(生徒会説明)

地域貢献の一環として一人暮らしの高齢者へカレンダー配りや地域の清掃活動など、多くのボランティア活動に参加しています。

7月豪雨後には、大屋川や西城川の流木や土砂の撤去など河川清掃を行いました。

また、地域の方々や高齢者から頼りにされることで、交流が深まるとともに生徒自身の成長につなげ、地域のリーダーとして西城町内の保育園児や児童・生徒たちのお手本となるよう、頑張っています。

私たちは、多くのボランティア活動を通して、地域とともに歩む紫水高生として、この西城地域に欠かすことのできない存在となれるよう、これからも西城地域に貢献をしていきたいと思います。

(市長コメント)

7月豪雨災害の発生後、紫水高校の皆さんが橋にかかった流木や土砂を撤去している姿を見かけ、猛暑の中で、一生懸命災害復旧に取り組む姿に大変感銘を受けました。改めて感謝と敬意を表したいと思います。

清掃活動では、地域の方々から感謝の声や励ましを受け、地域から必要とされ、守られていることを感じる事ができ、より一層頑張らなければとの思いを強く持たれたのではないかと思います。

また、保育所や小・中学校と連携して、一人暮らしの高齢者の方々に毎年手作りのカレンダーを配布されるとともに声をかけていただき、本当に嬉しく思っています。この取り組みについては、高齢者の方々が、毎年楽しみに待っておられると伺っています。これからも皆さんの活動と笑顔をしっかりと地域に届け、ボランティア活動を通じて、地域の方々に元気を与え続けて欲しいと思っています。

(3) 体育祭について

(生徒会説明)

「団結力全開！一人ひとりが主人公」をスローガンに、昨年度、37年ぶりに体育祭を復活させ、今年は復活後、第2回目として、地域を巻き込んだ体育祭を目指し、保育所や小学校、西城まちづくり大学の参加を得て、地域の方々が楽しめる内容で実施しました。今後も、体育祭が西城地域の方々に楽しんでいただける行事となり、地域との連携づくりに役立てていきたいと考えています。

また、今後は生徒会を中心に体育祭の運営を行い、西城地域貢献活動の派遣先（事業所）の人たちにも参加していただけるようにしていきたいと考えています。

(市長コメント)

昨年、37年ぶりに復活させた体育祭の取り組みについては、よくぞ歴史を動かしたなど関心しました。地域と共に歩む紫水高生として、皆さんの心の中には、いつも西城地域があるのだと思います。

復活した体育祭は、保育所の園児や小・中学校の児童・生徒、地域の方々を巻き込んだもので、この復活は紫水高校だけでなく西城町の団結力を示したもので、今年も多くに参加が得られたのは、皆さんのこれまでの活動や地域の皆さんとのつながりの賜物だと思います。

復活には、いろいろな苦労や困難もあったと思いますが、やり遂げたときの喜びはそれ以上だったと思います。この経験は皆さんにとって、必ず将来の力になると思います。

また、後輩たちにとっても誇りであり、この体育祭は代々受け継がれていくことと思います。これからも団結力を発揮して、地域と共により良い体育祭を創りあげて欲しいと願っています。

■郷土芸能の理解と承継

(1) 神楽部の活動について

(神楽部説明)

神楽部は、現在部員が13名で、西城町神楽愛好会の指導により結成から35年目を迎え、伝統文化の継承や西城町神楽愛好会の後継者育成にもつながっており、比婆荒神神楽の魅力を全国に発信するなど、他校にない特色ある活動を行っています。

現在では、紫水祭(文化祭)や西城ふるさと祭、どえりやあ祭、比婆山山開きの他、毎年多くのイベントなどで出演依頼が寄せられています。

そして、全国の高校生が集まる神楽甲子園(安芸高田市)には、第1回目から8年連続で出場し、3校連携(庄原格致・東城・西城紫水高校)によるクリスマスコンサートにも毎年出演しています。

比婆荒神神楽と地域をつなげる神楽部の活動がこれからも続けられるよう頑張っていきたいと思います。

(市長コメント)

西城という地域が、皆さんを神楽の道に引っ張ったのではないかと思います。比婆荒神神楽は地域の宝であり、後世に伝えていくべき庄原市が誇る伝統文化の一つで、西城地域はもとより広く市民から愛され親しまれています。

神楽甲子園への出場は、全国に比婆荒神神楽の魅力を発信することにつながっており、庄原市のPRにもつながっています。

一方で残念なことですが、他県では、庄原市がどこにあるのかさえ知らない人が多いのも現実です。私は市長になったとき、一目で庄原市がどこなのか、これを見たら庄原市と認識してもらえるよう、知名度のあるヒバゴンや、キョロやまくんを使ったPRロゴマークキャラクターをつくり、本市のPRに活用しています。

神楽部の継続的な活動は、今後も庄原市の魅力を発信することにつながり、多くの方々に感動を与えてくれます。

この素晴らしい伝統文化を後世に伝えていくためにも、引き続きたゆまない努力をされることを期待しています。頑張ってください。

4. 高校生からの質問

(高校生)

庄原市は、紫水高校生の力をどう活用していきたいと考えていますか。また、どのような期待を持っておられますか。

(市長)

紫水高校の皆さんには、企業などへの地域貢献活動やボランティア活動など、西城地域を中心とした様々なイベントに積極的に参加していただき、地域との絆を深め、地域から信頼される紫水高生になってほしいと願っています。

また、将来は庄原市で暮らしたい、庄原市で頑張っていきたいと思ってくれる紫水高校生が増えてくれることを期待しています。

(高校生)

高校時代に何を一番頑張りましたか？

(市長)

運動が大好きで、負けたくないとの思いを持ってスポーツを頑張っていました。大きな舞台には出場していませんが、とにかく仲間と一緒に様々なことを頑張りました。

意見が合わないことや衝突もあると思いますが、相手の話をしっかり聞いて、自分の思いもしっかり伝えていけば、トラブルになることはないと思います。しっかりと意見を交わすことに遠慮せず、高校生活を楽しんで欲しいと思います。

5. 市長まとめ

本日は、限られた時間ではありましたが、生徒会執行部の皆さんや神楽部の皆さんと大変有意義な懇談を行うことができました。

懇談では、西城紫水高校の特色ある取り組みとして、地域貢献活動講座をはじめ、さまざまなボランティア活動の実践、37年ぶりに復活した体育祭や伝統文化の継承につながる神楽部の取り組みなど、西城地域とともに歩んでいる紫水高生の取り組みを知ることができ、若いエネルギーと地域との深い絆を感じることができました。

誰もが「やっぱり、庄原がいちばんええよのお」と実感してもらえるまちづくりを実現するために、地域を支え、支えられながら、西城地域に欠かせない高校として、これからも地域に笑顔と元気を送り届けていただきたいと思います。

本日は、ありがとうございました。